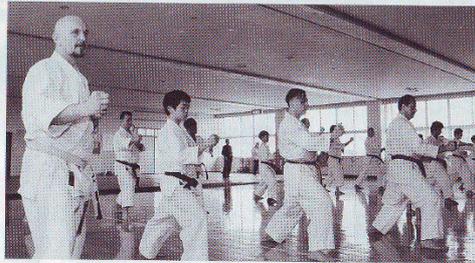


生涯学習だより

日本空手協会加美支部情報



あこがれの日本での稽古に、気合いが入る参加者

4月28日、ドイツを中心とする海外の空手愛好者14人が中新田体育館において、親交のある日本空手協会加美支部（支部長本田郁夫さん）と合同稽古を行いました。世界各国への空手道普及を目指す高橋安起師範が、本場日本で技術を磨いてもらおうと実施したもの。形や組手など、高橋師範の指導のもと、熱心に稽古に励みました。

空手を通して国際交流
海外の愛好者が来町



高橋師範（中央）の指導を受ける参加者

日本で稽古 夢が実現

ドイツなど欧州の空手愛好家グループが4月28日、加美町の中新田体育館で行われた日本空手協会県仙北地区各支部の合同稽古に加わり、交流を深めた。

参加したのは、ドイツ、スイス、オーストリア3カ国の愛好家14人。同地区会長の高橋安起師範(71)が毎年、ドイツへ指導に訪れている縁で来日

し、稽古に加わった。高橋師範らの指導の下、形や組手などで約3時間、汗を流した。

参加者のほとんどが日本は初めて。来日経験が豊富で、グループの団長を務める前ドイツ王者のシュラトさん(48)は「空手家にとって、日本に来るのは夢の一つ。いい稽古ができ、みんな喜んでい」

欧州の空手愛好家
協会支部と交流
加美